

全国学力学習状況調査の結果から見える子どもの姿

◇シリーズその1◇

8月に公表されました全国学力学習状況調査の結果について、ただいま職員で詳しい分析を進めているところです。保護者の皆さんには、学校便りの特集（シリーズ）として、数回に分けて結果についてお知らせいたします。また、そこから見える子どもの姿について分析し、学校でできることは何か、ご家庭で取り組んでいただくことは何か、考えていきたいと思えます。1回目の今号では、各教科に見られた成果○と課題●や、生活習慣ついてお伝えします。

- 文章を読んで、特徴を捉えたり、情景を捉えることができている。
- 相手の立場や状況を感じ取って聞いたり、話したりすることができている。
- 目的や意図に応じて、文章を引用したり書き加えたりすることができている。
- 前の学年までに習った漢字を読んだり書いたりすることに課題がある。
- 目的に応じて資料を読み、わかったことを適切に書くことに課題がある。



- 必要な情報から、位置を特定したり、数値を読みとったりすることができている。
- 正しい答えの出し方を選択し、その理由を記述することができている。
- 台形の面積の求め方や三角形の書き方など、図形の問題に課題がある。
- 小数や分数の計算を正しくすることに課題がある。
- 基になる量と比較する量の関係から割合を考えることに課題がある。

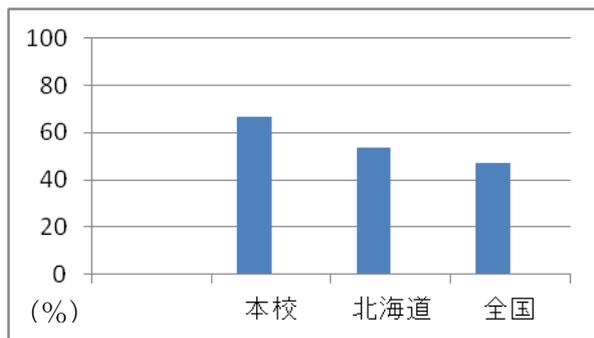
算数



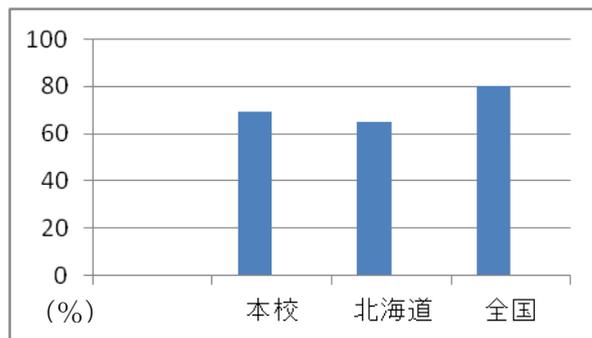
「早寝、早起き、朝ごはん」という言葉を耳にしたことは多いと思います。子どもたちにつけたい生活習慣の一つです。本校の児童の

生活習慣

平均でみると「早く寝て、早く起きている子が多いが、ゆっくり寝ている子もいる」ことがうかがえます。ほかの質問項目からも十分睡眠時間を確保していることがわかりました。



夜 10 時前に寝ている子どもの割合



朝 7 時前に起きている子どもの割合